

萬運輸株式会社

感謝を表すリボン描く 60周年記念号



【神奈川】萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）が4月から運行させているデザイントラック「創業60周年記念号」の特別仕様大型車が、ドライバーから好評を得ている。マルチキャビン型の特別仕様車にはアイドリング・ストップクーラーも装備されており、ドライバーから「暑い日でも快適に仮眠できる」との声が上がっている。

60周年記念号は、2019年11月に迎えた創業60周年を記念するとともに、2年後の設立60周年に向けた記念事業の一環として企画。計16台に60周年記念マークを入れ、車体にオリジナルデザインを施している。トラックへのプリントは、同社車両整備部門のヨロズモータースで、専用装置「オートボディプリンター」を使って行った。

このうち、庄内営業所（山形県鶴岡市）に配属されている、いすゞ自動車「ギガ」の特別仕様車はキャビンに同社では初の紺の単色カラーを採用。車体には感謝の気持ちを表現したリボンのデザインを描いた。

また、積載率を高めるため、通常は運転席後部にあるベッドを、運転席の上部に配置した「マルチキャビン」を採用。ベッドでの休息時の環境を快適にするため、エバスペヒャーミッククライメットコントロールシステムズ（角幸一社長、神奈川県小田原市）のコンプレッサー式クーラーを設置している。

特別仕様車に乗務できるのは、無事故無違反3年以上の優良ドライバーに限定。乗務する同営業所のドライバーは「キャビンの2階部分に当たるベッドスペースは、カプセルホテル並みに広くてクーラーもあり、5、6月の暑い日でも快適に仮眠できた。外部の音も静かでエアコンも快適で熟睡できる。寝過ぎてしまわないよう注意しなければ」と感想を述べている。

萬運輸が60周年記念号のドライバー18人に対し行ったアンケートでは、車体へのプリントについて、9割以上が「良い」「すごく良い」と評価。マルチキャビンに関しては「良い」との回答が38.9%と最多を占めた。また、ベッドスペースについて「ラジオが聞ければ良い」「断熱材を厚くすると良い」「2階に上がるのが大変」といった意見があった。

萬運輸ではドライバーから集めた意見を参考にして、今後の同社の車両仕様や車内環境整備を検討していく。